小児のリハビリテーションにおける適切な食事動作訓練，症例研究

Training appropriate eating behavior in pediatric rehabilitation setting, case study./Thomas J. Reidy: Arch. Phys. Med. Rehabil., **60**, 226-230, 1979.

【オペラントコンディショニング，精神発達遅滞，食事動作】

小児の食事動作訓練に operant conditioning treatment を用い，短期入院で効果があった症例を示した．患者は7歳の少年で，3歳の時受けた脳外傷により三肢麻痺と著明な精神発達遅滞を呈していた．

患者の食事態度は，手づかみで食べ，口に頬張り，かまずに飲み込むことから成り立っていた．これは悪い反応であり，訓練者は手で患者の手を制し，短かい言葉で勇気づけ，フォークを用い良くかんで食べるよう，すなわち正しい動作へと導いた．患者が正しい反応に成功した時は，彼をほめ，肩をたたいた．このような治療は計8日間行われ，その後，15日間の訓練維持期間がおかれた．

また，母親と教師も治療法の説明を受け，退院後 follow up を行った．その結果，入院時には正しい反応は21％であったが，急速に改善し，退院後も90％以上に保たれていることがわかった．この方法は，多忙な施設でも管理可能であり，誰でも簡単に訓練を応用できる点がすぐれていると思われた．（横浜市大　伊藤　純子）

高位損傷四肢麻痺患者に対する環境，タイプライター制御装置の評価と処方

Environmental and typewriter control systems for high-level quadriplegic patients: evaluation and prescription./Sell, G.H. et al.: Arch. Phys. Med. Rehabil., **60**, 246-252, 1979.

【環境制御装置，電話装置，タイプライター装置】

市販，実用化されている重度身体障害者のための環境制御，電話，タイプライター装置に対する NYU からの性能評価報告．検者は高位頸髄損傷者52名，評価期間は3～44カ月，評価場所は OT の実験室を中心に病床，家庭である．評価はセンサー，信号処理装置（control box），表示装置，周辺機器およびそれら全体について，操作の難易度，機器の信頼性，モニターのしやすさ，大きさ，外観，周辺機器の互換性，操作時間，メインテナンス，価格，その他を基準にして行った．

対象とした機器は FCCS (Fidelity 社)，PSU-1(Possum 社)，Nu-Life, Robot (Sudbury)，ECU-1 (Prentke Romich 社)，ECU-2, Genie, TOSC-2 の8機種と電話装置および4機種のタイプライター（PMV, Possum）である．環境制御装置では ECU-1，電話装置では ADT-5 A が優れていると判断され，家庭での使用を推薦されたが，タイプライター装置には優れたものはない．（神奈川県リハセンター　安藤　徳彦）

小児の皮質盲の評価における視覚誘発電位

Visual evoked potentials in the evaluation of "cortical blindness" in children./Frank, Y. et al.: Ann. Neurol., **6**, 126-129, 1979.

【皮質盲，視覚誘発電位】

行動上の盲である皮質盲において，これを伴わないびまん性大脳機能障害の症例と比較し，視覚誘発反応（VERs）の欠如や異常あるいは反応形式の差を呈するか否かを確かめるため，短時閃光に対する VERs を後頭領域から記録し検討した．

対象は生後4カ月から15歳までの皮質盲を有する小児30例で，一方同じ年齢域で，同種の病因による中枢神経疾患を有するが盲の症状や徴候を伴わない31例について検査し，これら2つの群を比較した．VERs は既に他の報告者が記載した方法に従って，振幅，ピークの数，形態について分析した．

その結果，反応はすべてある程度の異常を呈したが，2つの群の間には有意差は認められなかった．すなわち異常反応を認めても視覚の正常なことが稀でないことから，VERs の記録は小児の皮質盲の診断にとって必ずしも確実な方法ではない．いずれにしても，遅い成分や各成分の出現部位の分布について，より厳密な研究が必要であろう．（東大　江藤　文夫）

Antiperinuclear 因子

1. 慢性関節リウマチに対する antiperinuclear 因子の診断的意義

The antiperinuclear factor. 1. The diagnostic significance of the antinuclear factor for rheumatoid arthritis./Sondag Tschroots, I.R.J.M. et al.: Ann. rheum. dis., **38**, 248-251, 1979.

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/10/09 23:51:28

【RA, antiperinuclear 因子, 頬粘膜上皮細胞, 免疫螢光法】

1964年 Nienhuis Mandema が頬粘膜上皮細胞核周囲顆粒に対する抗体がRA患者血清に50%に認められることを報告したが著者らは免疫螢光法を改良して追試した.

RAを主に各種自己免疫疾患, 変性関節疾患および正常人の血清についてテストを行ったところ, RA 103例中78%に陽性を示し, ラテックス凝集反応の70%, ワーラーローズ反応の58%を上回った. セーグレン症候群は16例中5例 (31%), 自己免疫性甲状腺炎30例中6例(20%), 自己免疫性溶血性貧血30例中3例 (10%) で, 他はいずれも10%以下の陽性率であり, SLEでは94例中8例 (9%), 強皮症は17例中0であった. 正常人は111例中4例が陽性であった. RA 103例中, ラテックス凝集反応, ワーラーローズ反応ともに陰性の26例中本因子陽性を示したものが11例 (40%) あり, 3テストいずれも陰性のものは103例中15例 (15%) であり, リウマチ因子のテストとして有用であると考えられた. ただし, substrate に問題があるので検討中である.

(中伊豆温泉病院　間　　得之)

<お知らせ>

リハビリテーション工学国際セミナー ('80)
(R.E.I.S.—'80)

日　時　1980年7月18日 (金), 19日 (土)

場　所：池袋ワールド・インポート・マート国際会議室

第1日

あいさつ……(早大) 加藤　一郎

日本におけるリハビリテーション工学の現況と展望
……(労災義肢センター) 土屋　和夫
(日本における福祉関連機器開発概要の紹介とその成果の報告)

移動用装具の概念……(ベルグラード大) P. Tomović
(医用ロボティクスの非数値制御とパターン認識)

ソフトスーツの開発現況
……(ベルグラード大) D. PoPović
(移動用ソフトスーツリハビリテーションの進歩. ハードウェアによるデモンストレーション付)

電動車椅子……(国立リハセンター) 木村　哲雄
(各種電動車椅子の乗り心地テストおよび新規開発電動車椅子について)

環境制御システム…(神奈川リハセンター) 畠山　卓朗
(重度四肢麻痺者を対象としてμコンを導入して環境機器の制御コミュニケーションを可能とするシステムについて)

第2日

LAPOC……(労災義肢センター) 青山　　孝
(東洋の生活様式を考慮したモジュラー義足システムの開発経過と現況)

大腿義足……Radcliffe
(4あるいは6リンク膝機構および摩擦安定膝機構設計思想について述べる. 切断者による使用デモンストレーション付)

WIME ハンド……(都・補装具研) 市川　　洌
(前腕切断者を対象とした国産筋電動制御電動義手の開発と実用化のためのフィールドテスト結果について)

パネル討論
リハ工学の問題点をさぐる
……(早大) 加藤　一郎・(横浜市大) 土屋　弘吉および講師全員

主　催：バイオメカニズム学会, リハビリテーション工学国際セミナー実行委員会

協　賛：計測自動制御学会, 精機学会, 電気学会, 電子・通信学会, 日本機械学会, 日本義肢装具研究会, 日本作業療法士協会, 日本自動制御協会, 日本整形外科学会, 日本手の外科学会, 日本人間工学会・リハビリテーション工学会, 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会

後　援：日本アイ・ビー・エム株式会社

セミナ用語：英語・日本語 (同時通訳を準備)

会　費：一般8,000円　学生5,000円　カクテルパーティ参加費 4,000円

詳細は事務所まで (早稲田大学理工学部58-214号室 加藤研究室内バイオメカニズム学会;
東京都新宿区大久保 3-4-1)
Tel. 03-209-3211

2026/10/09 23:51:28